



市章

広報えびな

発行・海老名市役所・海老名市国分155/編集・秘書広報課/電話・31-2111(代)/〒243

世帯と人口	
57年4月1日現在	
世帯	25,070世帯 (-61)
人口	83,598人 (+244)
男	42,808人
女	40,790人

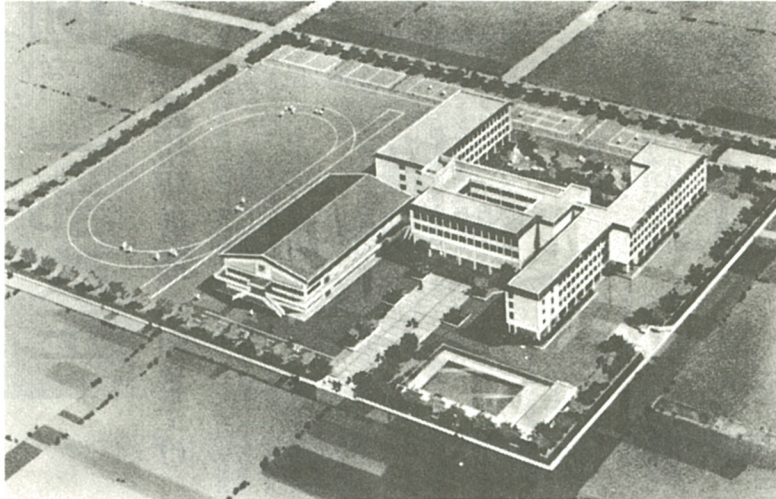
毎月1日・15日発行

開校まであと二年

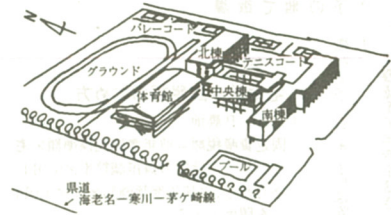
市南部に第二の県立普通科高校

市民のみさんの熱い要望を受けて、県では、五十四年四月に開校した県立海老名高等学校に続き、市内に二番目の県立普通科高校を設置する計画で、現在、五十八年四月の開校を目指して工事が進められています。今のところ「県央方面高校」と呼ばれているこの高校には、将来、それにふさわしい名前が付けられることですが、その施設は地域に根ざした新時代の高校として細かな点まで配慮がされており、加えて新校舎で開校する理想的な方式が採られることになっており、今からその開校には大きな期待が寄せられています。

当市は、県立高校の学区では県央学区(海老名市、大和市、綾瀬市、座間市、厚木市、愛川町、清川村)に属しており、同学区は当市と厚木市を始めてと全体に人口増加が著しく、そのため中学校卒業生とそれに伴う進学希望者も増えています(下表・グラフ)。



「県央方面高校」の完成予想図



環境に調和する校舎

地域に根ざした新時代の高校へ

県央方面高校は、現在、土地の造成工事が完了し、第一期の北棟、中央棟、第二期の体育館の工事が同時に進行中です。これらの工事は今年度中に完了の予定で、従来の新設高校のように他校で間借りして開校し、後に新校舎に入るといった形式でなく、校舎完成と同時に開校する「本校舎開校」方式を採用することになっており、新

県では現在、進学希望者の増加に対応するため、高校百校新設計画を進めており、その一環として県央学区内の高校の設置状況も考慮した上で、以前から市民要望も出ていた当市に五十八年開校目標の県央方面高校を設置する計画を立てました。高校の建設場所については、県は先に開校した中新田の海老名高校に続いて、市の南部地域に位置する中野・社家両地区にまたがる土地(位置図)を用いるため、買取交渉を行い、関係地権者のみなさんの協力を得ています。

この場所は位置図でもお分かりのようによくに、国鉄相模線社家駅と西沢橋駅のほぼ中間に位置し、両方の駅からそれぞれ徒歩約十分、水田海老名・寒川・茅ヶ崎線沿いの水田地帯で、ここは駅にも近く、周囲は緑豊かな水田地帯で自然環境にも恵まれているため、高校用地に最適と市も太鼓判を押した土地でもあります。

一年生を受け入れるため北棟(仮称)、中央棟(仮称)、体育館だけで開校し、残る南棟(仮称)とプールは後年度の工事を待つことにしています。校舎などの建物は全体として四つの棟で構成されており、南棟、北棟、中央棟、体育館を合わせて延べ建築面積約一万五千平方メートル。これらの建物は敷地の両側に位置し、北側にも

中学生も期待

市立有馬中学校教諭
樋口 信一さん



県央方面高校の建設場所は私も

がグラウンドになっています。南棟の一階は管理諸室、二・四階は普通教室、北棟は廊下を隔てて北側は一・四階まで特別教室、陽当たりの良い南側は普通教室になります。中央棟には二階に職員室、三階に図書室、四階は映画用スクリーンなどを設備した視聴覚教室、さらに音楽室などができるところになっています。

体育館は二階建てで、一階に柔剣道場などを、二階に体育室を設けています。

グラウンドは、直線百メートルを含む一周二百五十メートルのトラック、野球場として使えは両翼それぞれ十メートルの広さとなります。また、バレーコート三面、テニスコート二面が別に東側に設置されます。

校舎の特徴としては、屋上の緑の部分を検討させる。寄せ棟風」と、また、縦と横の線を強調した。通学(れんし)「格子」の外壁を採用するなど全体として日本建築の風格を醸し出す努力が凝らされており、中庭も和風庭園とするなどの設計となっています。

特色ある教育課程の展開に対応するための個性化特別教室一三室、また、生徒の教科・科目の選択制の拡大や弾力的な教育活動に対応するための「個性化一般教室」を特色ある学校づくりのために設けてあります。

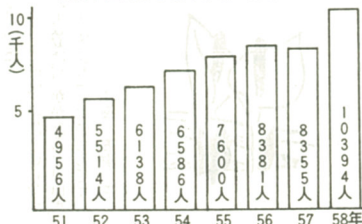
「つ」したところのほか、同高校の周囲が歴史ある条理古田の面影を残す海老名耕地であるため、この豊かな緑と調和するよう、校舎・グラウンドの配置を考慮し、さらには付近に背の高い建物がほとんどない状況から、通常よりも低層の四層建てとするなど周囲の環境に調和した建物となるよう設計されています。

市内中学校卒業生の進学状況

年	卒業生数(人)	進学者数(人)	進学率(%)
51	774	680	87.9
52	819	755	92.2
53	884	814	92.1
54	1,071	990	92.4
55	1,138	1,054	92.6
56	1,135	1,050	92.5
57	1,161	1,074	92.5
58	1,435	1,327	92.5

(※55年は進学希望者数、56年以降は推計値)

県央学区内中学校卒業生の推移



(※55年以前も新学区内の数値とした。56年以降は推計値)

市債・基金・市有財産の状況

市債の現在高 (単位: 万円)

区 分	56.9.30	56.10.1-57.3.31	57.3.31
	現在高	借入額	償還額
庁舎建設債	2,450	0	86
社会福祉施設債	68,720	0	0
児童福祉施設債	11,238	0	720
健康センター債	753	0	13
農林水産債	1,803	0	62
市道債	17,962	0	659
都市計画債	86,372	0	922
公営住宅債	191	0	25
消防施設債	2,864	0	369
教育施設債	430,646	2,800	14,177
青少年会館用地債	1,330	0	190
特例地方債	16,872	0	1,611
計	641,201	2,800	18,834
特別会計			
相模川流域下水道債	117,006	0	630
公共下水道債	180,852	3,800	718
計	297,858	3,800	1,348

基金の状況 (57.2.28現在 単位: 万円)

基金名	現在高	備考
財政調整基金	118,988	現金
奨学基金	521	現金
土地開発基金	16,732	現金
"	5,000	貸付
"	922.74	土地
用品調達基金	236	現金
"	93	先掛
"	85	買掛
"	1,642	軽自動車
"	2,918	油
"	5	自動車消耗品
公共施設整備基金	113,751	現金
国民健康保険財政調整基金	36	"
国民年金印紙購入基金	300	"

行政財産 (57.2.28現在 単位: ㎡)

名称	土地面積	建物面積(延)	備考
庁舎	7,747	4,828	
消防施設	5,765	1,546	
小学校	180,404	54,919	12校
中学校	81,794	25,172	5校
学校給食センター	6,313	2,107	2館
図書館	888	475	1館
市営住宅	27,755	4,402	145戸
児童遊園	3,975	2,580	12館
保育園	9,710	1,776	5園
総合福祉センター	2,095	540	1館
トラクター格納庫	0	140	1棟
ライスセンター	902	194	1館
公園	136,095	0	
国分寺史跡	11,795	0	
ひさご塚	799	0	
一般廃棄物処理用地	10,625	0	
中部福祉館	0	157	1館
わかば作業所	1,043	197	1所
わかば学園	1,043	231	1園
健康センター	1,370	393	1館
健康センター	3,309	1,103	1館
文化会館	0	3,970	1館
公民館	0	1,531	1館
その他	9,183	437	
計	502,610	106,698	

普通財産 (57.2.28現在 単位: ㎡)

名称	土地面積	建物面積(延)	備考
田	9,582	0	
畑	9,550	0	
宅地	18,427	351	
雑地	3,264	0	
計	40,823	351	

歳出のあらまし



57年度一般会計の主な事業

教育費

35億8,898万円



- 柏ケ谷小学校体育館の床を木製に改修。
- 中新田小学校の受水槽を地上式に設置替えし、衛生面・管理面の向上を図る。
- 今泉小学校にプールを建設。校舎を市学校建設公社から57・58年度の2年間で買収。
- 杉久保小学校の校舎を増築。(普通教室12、理科室・図工室各1)
- 杉本小学校に体育館を建設。学校用地(約14,500㎡)を市土地開発公社から買収。
- 中学校の部活動補助金、図書購入費を増額。
- 海老名中学校・海西中学校の校庭に防球ネットを設置。
- 大谷中学校の校舎・プールを市学校建設公社から56・57年度の2年間で買収。

土木費

34億5,071万円



- 安全確保のため通学通路の整備舗装道路の補修、砂利道の整備。
- 市道の舗装18路線、歩道設置3路線、改良8路線、用地買収約4,300㎡などを実施。
- 橋を拡幅して架け替え。(110号橋・中野橋)
- かしわ台駅前に自転車置場を設置
- 街路海老名駅大谷線の用地買収(約7,500㎡)、大谷線の用地買収(約1,000㎡)。
- 釜坂都市下水路ほか4件(総延長515m)の都市下水路を整備。
- 前年度に引き続き、海老名運動公園の野球場などを整備。

特別会計

国民健康保険は、勤労者の健康保険に加入している人、生活保護を受けている人などを対象とする。国民健康保険は、病気や負傷をしたときに安心して治療を受けられ、加入者が健康で明るい毎日を送れるようお互いに助け合う医療保険制度です。昭和五十七年三月現在、市内の国民健康保険加入者は、一万九千四百九十九人で、市の人口の約四分の一の方が加入しています。本年の予算総額は、十九億一千二百六十六万円で、前年度比で二一・一%の増です。これは医療費の高額増の自然増、助産費の引き上げなどによるものです。

下水道事業は、都市の健全な発達、公衆衛生の向上を図り、併せて公共用水域の水質保全を目的として行われるのが現状です。

農業共済

農業共済事業は、自然災害の多い我が国で農家のみなさんが農作物などに被害を受けることが多いため、保護政策として、農業共済法に基づいて行なわれているものです。自然災害や病害虫などで一定の限度を超えて被害があった場合、共済金が被害者に支払われます。事業内容は、農作物共済(至額)と、畜産共済、家畜共済、園芸施設共済の四種類です。幸い当市ではこの数年、農作、至額とも被害が少なかったため、農家の方に掛金を還元(無事戻し金)しています。本年の予算は、三千九百九十七万円で、内訳は農作物共済一億九千九百九十九万四千二百六十二円、畜産共済一億六千八百八十六万四千九百九十九円、至額共済一億三千三百三十三万四千九百九十九円、園芸施設共済一億四千四百六十二万二千九百九十九円です。

国民健康 保険事業

下水道 事業



本年度も教育施設整備として、今泉小学校のプール建設、杉本小学校の体育館建設などを予定。(写真は、海西中学校のプールで行われた母子の水泳教室)

民生費 21億8,663万円

- 市業務内容を紹介する市民便利帳を発行。
- 道路反射鏡・十字マークなどの交通安全対策施設を整備。
- 交通安全と防犯の意識高揚のため、交通安全・防犯フェアを実施。
- 生け垣設置の奨励補助金を新設。
- 通学路の安全点検と、スクールゾーン標示などを設置。
- 老人と壮年者の交流会、炉端懇談会などの生涯対策事業を実施。
- 入浴用輸送車を利用して、むたきり老人の方を市内各地に案内。
- 老人福祉施設を解説した福祉ガイドを発行。
- 老人福祉センター兼社会福祉会館を建設。
- 市立保育所の乳児室を増築し、3歳未満児の定員を拡大。
- より多くの児童が保育を受けられるよう私立保育所の建設を奨励。
- 保育グループによるコミュニティ保育を助成。
- 聴覚障害者用のファックス電話の設置費・使用料を助成。



衛生費

11億9,745万円



- 休日や夜間の急患診療体制を確保・充実。
- 広域大和畜場組合の畜場運営費を4市で負担。(海老名・座間・綾瀬・大和)
- ゴミの増加に対処するため、収集車を1台増車、3台更新。
- 前年度開始した高圧清掃施設組合のゴミ処理施設建設費を3市で負担。(海老名・座間・綾瀬)

消防費

4億2,937万円



- 防災資機材運搬車1台、防災資機材格納用コンテナ1基を購入し防災体制を整備。
- 防火水槽3基、街路用大型消火器100基を設置、消防車1台を更新。

商工費

2億1,240万円



- 商工会に補助金を交付し、市内商工業の総合的な改善・発展を奨励
- 生鮮食品などの販売促進補助金を増額。
- 市内の中小企業者が金融機関などから事業資金を借りやすくするため、資金の預託や利子補給を実施。
- 市内の史跡などを紹介する観光パンフレットを作成。

農林水産業費

2億463万円



- 青空市の開催回数を増やして実施
- 農道や排水路を改修・整備。
- 園芸協会・畜産組合・農協の営農対策などに補助金を交付し、安定した農業経営の発展を奨励。

労働費

6,382万円



- 勤労者の住宅資金・生活資金用に労働金庫などへ貸付ける資金を増額。(4,700万円→5,700万円)
- 勤労者住宅資金の利子補給限度額の引き上げ、補給期間の延長など制度を充実。
- 心身障害者の雇用奨励制度を市外からの通勤者にも適用。

総務費

15億6,505万円



▲こんなにゴミが集まった

美化キャンペーンの一環として、3月28日早朝に海老名駅周辺の清掃が国分、勝柳、上郷地区の方がたを中心に行われました。収集したゴミは、なんと2トントラック2台分！参加者のみなさん、ご苦労さまでした。



▲力作に感心
講習の成果を集めた公民館講座受講生作品展が4月17、18日市立中央公民館で行われました。訪れた私たちは、完成度の高い作品展に思わず足を止め、見入っていました。写真は鎌倉彫講座です。

フット
ニュース



▲怖い交通事故！

春の交通安全の一環で行われた交通安全教室で、ダミー（人形）を使った衝突実験を目の当たりに見た児童たちは、「ひどいなあ」「人形かわいそう」と交通事故の恐ろしさを実感。4月8日、柏ヶ谷小学校で。



声の広場

投稿は住所、氏名を忘れずに
〒114-03 海老名市国分一五五
海老名市役所秘書広報課まで

点字の講習を受けて

昨年は国際障害者年でしたが、心身が不自由な人たちの社会への完全参加と平等は、昨年だけの問題ではなく、これからみんな考えていく必要があると思われまふ。

加しました。パートで働いている奥さんや小さな子供がママさん。また、雇間はさんであり、サラリーマンであるみなさんが一日の仕事を終えたあと、二か月にわたる夜の講習をほとんど休むことなく、懸命に勉強している姿には、ほんとうに頭がさがる思いがしました。

今後、点字を続ける、続けたいにかかわらず、講習で学んだ体験は障害者の方々に理解する糸口になったのではないかと思われ、たいへん意義のあったものと考えております。

(大谷 板倉笑子)

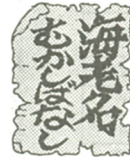
巡回連絡にご協力を

座間警察署

派出所に勤務する警察官は、昼夜の別なくパトロールをしたり、事件や事故の処理にあたっていますが、そのほかに巡回連絡という勤務がある

第42話

市に關係する
歴史上の人物



その一 徳川 家康

中新田、中野、社家の五か村を総称していた。この時の付近の領主と領地を示す、
海老名：高木主水助清秀：五千石
伏間（座間）：青山常陸介ひたのすけ 忠政：五千石
当摩（当麻）：内藤修理亮しゅりことすけ 清成：五千石
海老名の高木清秀の屋敷は中新田にあったと伝える。



このあたりに高木主水助の家敷があったと伝えられる六刀碑周辺

ります。

これは警察官がみなさんのご家庭を訪問し、非難の場合の連絡はどうするかなどについて話し合ったり、警察に対する要望や意見をうかがうのが主な内容です。つまり、巡回連絡は、派出所の警察官が管内区域内の各家庭のみなさんと連絡を密にして、地域一帯を犯罪や事故から守っていくためのものです。

また、警察官がみなさんのご家庭を訪問した際に、「案内カード」に家族の名前などを書き込んだことがありますが、これは大きな災害や事故が発生したとき、避難誘導やみなさんのご親類への連絡をする時などに利用するためのものです。また、訪問の際には、少年非行問題や違法駐車、騒音などの困ったこと、あるいは警察に対する要望、意見をお気軽にお寄せください。警察は個人の秘密を守りながら最良の方法で解決に努めます。巡回連絡について、詳しくは、座間警察署（056・1110）まで。

徳川家康は慶長十二年（一六〇七）駿府城を修築して江戸から移る。これに前後してたまたま江戸一駿府の間を往復するが、その程度、中原に立ち寄って鷹（たか）狩りを楽しんだ。そしてそのたびにわざわざ海老名の高木清秀を訪ね、狩りごっこした鳥や時服（じふく）を土産として与えた。

これは、東照宮御実紀や徳院殿御実紀、また、新井白石の藩翰譜はんかんににも載っているが、いずれも家康の訪問がたまたまであったことを報じている。これによって我々は海老名と家康との関係を記憶してよいと思つ。

中原というのは今の平塚市中原で、ここは家康の掃蕩で別荘があった。今、中原御殿の名のバス停がある。

その昔、附近にあつて勇敢な働きをした部下の隠居している田舎にわざわざ訪ねてこれらをもつた御所家康の人柄の暖かを感じさせる話である。

(池田正一郎氏「国分」から寄稿されたもの)
海老名むかしはなほは、好評につき、今年から一日にも掲載することにし、月一回、より充実した内容としますので、どうぞお楽しみに……